

# 長崎 検定

## 一級 さん

Vol.16

### 健康増進「さるく」から長崎検定へ

岸川 芳弘 さん

合格率十二二%。長崎歴史文化観光  
検定の最難関を突破した一級ホルダー。  
その卓越した識見には、なにやら一家言  
ありそうです。  
みづくはらたに寄稿願いました。

「さるく」「見聞館」など全コースに参加するようになって1年、長崎をもっと知りたいと興味があわいてきました。しかし「さるく」では殆どが時間切れで質問時間もなく散会の状態、観光ガイド的には物足りなさを感じていました。

ある日、長崎検定の新聞広告を見て公式テキストを購入し勉強を始めましたが、最初は範囲が広く雑学的なものでありました。

しかし、興味が増すことに特に時系列的な長崎通史年表は、長崎の成立、キリシタンの街と弾圧、唐蘭貿易、幕末開国、明治、原爆と「壮大な長崎物語」であると思えるようになり、「通さるく」「史跡巡り」に参加したり講座などで勉強するたびに奥深さを感じて「長崎学」に終わりは無いと思うようになりました。

NHK「龍馬伝」で、今や長崎も龍馬ブームであり、長崎の歴史的意義を確かめながら史実でないと思われるものもドラマとして楽しんでいきます。また、世界遺産登録を目指す「長崎の教会群」「九州・山口の産業遺産」

などもたいへん興味深い勉強となりました。

そして、1級検定セミナー資料、その他の資料の整理として私の「長崎学ノート」を作成しました。ところが何かを見たり聴いたりするたびに追加メンテナンスとなりエンドレスの作業となりそうです。部数もA4で50枚を超えてまだまだ増えそうですが、今では楽しい作業となっています。

#### 「さるく」で感じたこと

(1) 歴史書はあっても、現地に歴史がない。

(例) 岬六町、埋立前の海岸線、主な街道起点表示など、道路交通法の関係で制限もあると思うが道路紙、エリアのカラー化など観光客に分かりやすい表示ができないか

(2) ガイド案内は、初めは丁寧でも後半は時間不足で駆け足となりがちなので、案内内容、時間配分をマニュアル化すべき

である。ガイドの多くの案内をしたという熱意と親切が結果的に参加者の不満となる場合があり、話すこと、話さないことの仕分けが必要と思う。

(3) 前項の対策の一つとして参加人員を10人以内とする。

(理由) 10人超では私語が生じやすく進行に支障を来す場合があり、また交通安全上も適当と思う。

#### 1級を受験して

(1) 漢字の誤りに赤面の感じで、今までの思い込みと、楷書で書かない習慣を反省し、今後は漢字を大切な文化として辞書を片手に正確に書くようにしたい。

(2) 雑学的1級でなく「長崎学」の1級として今後も奥深く勉強し、1級の名を大事にして努力していきたい。

(3) 健康でないのでは表には立てないが、裏方で何かのお役に立てればと思います。



【プロフィール】  
1935年11月生まれ(龍馬の100年後)74歳。九州電力(株)定年退職。  
眼鏡橋近くに移住してから長崎の歴史に興味を持つ。趣味は10数年石は握らないけど囲碁